

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 乾式貯蔵施設の了解 に厳しく抗議	町長は、7月29日、乾式貯蔵施設建設について了解しました。
	この間、住民団体はこれまで3回に分けて「女川原発敷地内に使用済燃料の乾式貯蔵施設を設置する計画に同意しないことを求める陳情署名」を提出。
	第3次分は7月25日に提出し、合計4012筆。その内で、町内分は850筆になりました。多くの住民の声が届かなかったことは非常に残念なことです。今回の「了解」は女川原発の敷地を半永久的な使用済燃料の貯蔵場所にすることに道を開いたものであり、厳しく抗議するものです。
	(1) まず始めに、陳情内容や署名数について、町長はどのように受け止めていますか。
	(2) 了解に至るまでの経過として、どのくらいの会議や議論がなされ、また、県や石巻市との情報共有等はどのくらい行われたのか、お示しください。
	(3) あくまで一時的に保管する施設との認識ですが、「一時的」の期間を曖昧にしたままで良いのでしょうか。住民団体の申入れに対して「町として引き続き使用済燃料を長期に渡り保管する

質問者 阿部 律子

質問事項	質問の要旨
	ことなく、計画的に搬出するよう求めてまいります」との回答をしていますが、それならば、
	搬出に向けた「一時的」保管期間等を定めたい
	えで、計画書を提出するよう求めるべきではあ
	りませんか。
	(質問の相手：町長、担当課長)

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 給付型を含めた奨学金制度拡充を	町内では、NPO法人が太陽光発電の収益を活用し、一部ではありますが、給付型の奨学金制度を開始し、今年で丸7年になり、延べ129人に奨学金を支給しています。
	また、県内の大和町でも奨学金の負担軽減を実施していると伺っていますが、少子化の中、子育て、教育の支援の一環として、給付型を含めた奨学金制度の拡充を検討する時期にきているのではないのでしょうか。そこで伺います。
	(1) 町独自で、例えば屋根貸し等による収益を活用して、一部給付型の奨学金制度の拡充を図ってはいかがでしょうか。
	(2) 町内に就職した場合には、奨学金の一部を減免する制度を検討してはどうでしょうか。
	(質問の相手：町長、教育長、担当課長)